# 平成29年度　事務事業評価シート（詳細）　※平成28年度に実施した事業を評価しています

## 基本情報

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 「インクカートリッジ」回収事業 | | | | | | | | | | |
| 担当部署 | 環境部 | | | 資源循環推進課 | | | | | 事業コード | 14 | |
| 所属長 | 飯野　英一 | | | | | | | | 事業区分 | ソフト事業 | |
| 予算事業名 | 環境プラザ管理事務 | | | | | | | | 新規・継続 | 継続 | |
| 予算事業コード | 会計 | 10 | 款 | 04 | 項 | 02 | 目 | 01 | 事業開始年度 | 平成２３年度 | |

## 1．事業の位置付け、関連事業及び法令による実施義務等（Plan）

第四次川越市総合計画上の位置付け（太枠内）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 基本目標(章) | 第6章 | 地球環境にやさしい、豊かな自然とともに生きるまち | 法令による実施義務 | 義務ではない |
| 施策 | 36 | 循環型社会の構築 | 根拠となる法令 | なし |
| 取組施策 | 1 | ごみの発生・排出抑制、分別の徹底 | その他実施根拠（条例、要綱等） | なし |
| 関連事業 | なし | | | |

## 2．事業の目的と概要（Plan）

| | |
|---|---|
| 実施主体 | 市実施（直営） |
| 対象（誰・何を対象に） | 市民 |
| 目的（対象をどのようにしたいか） | 市民から使用済みインクカートリッジを回収・再資源化することでごみの減量や資源循環型社会の形成を目的とする。 |
| 事業の概要（活動内容、実施手段・方法など） | 川越市施設（３箇所）に設置した回収箱に持ち込まれた使用済みインクカートリッジを選別した上で指定されたインクカートリッジメーカーの工場へ送付する。 |

## 3．前年度に立てた計画（Plan）

従前どおり行う。

## 4．取組実績（Do）

平成２８年度回収実績は計６箱、６１ｋｇ。

## 5．実施にかかるコスト（Do）

（単位:千円）

⑴　支出の部

| | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度(見込額) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 人件費　A | 0 | 0 | 0 | 0 | 回収箱１個当たりの選別作業は、約1．5～2時間程度につき人件費算出不可。<br>事業費は、回収箱等の資材や配送料についてすべて「インクカートリッジ里帰りプロジェクト事務局」にて負担しているため、不要。 |
| 正規職員（1年間の従事人数） | 0.00人 | 0.00人 | 0.00人 | 0.00人 | |
| 臨時職員（1年間の従事人数） | 0.00人 | 0.00人 | 0.00人 | 0.00人 | |
| 事業費　B | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 総支出（A＋B） | 0 | 0 | 0 | 0 | |

⑵　収入の部

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 使用料・手数料 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他特定財源 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 一般財源 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 総収入 | 0 | 0 | 0 | 0 |

## 6．指標による分析（Check）

⑴ 活動指標

| 評価指標 | 単位 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度（予定） | 単位当たり費用（下段は前年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 回収箱設置個数 | 個 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| 指標の定義・説明 | 川越市施設に設置した使用済みインクカートリッジ回収箱の数 | | | | | |
| インクカートリッジ回収事業PR回数 | 回 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 指標の定義・説明 | 市ホームページ掲載回数 | | | | | |

⑵ 成果指標

| 評価指標 | 単位 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度目標値 | 将来目標値 | 単位当たり費用（下段は前年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| インクカートリッジ回収量 | kg | 104.2 | 62.0 | (目標) 62.0<br>(実績) 61.0 | 61.0 | 年度 | |
| 指標の定義・説明 | 使用済みインクカートリッジ回収量（重量） | | | | | | |
| | | | | (目標)<br>(実績) | | 年度 | |
| 指標の定義・説明 | | | | | | | |

## 7．評価（Check）

| 項目 | 評価 | 評価コメント及び課題等 |
|---|---|---|
| 必要性 | 市が関与することが妥当であるか、時代の潮流や市民ニーズに対して目的や内容が合っているか | |
| | D | 全国的に展開している民間のリサイクルプロジェクトへの協力事業である。 |
| 有効性 | 施策の目標の達成に貢献しているか | |
| | A | 3Rの1つであるリサイクル（再生利用）に、「インクカートリッジ」回収事業は大きく貢献している。 |
| 達成度 | 設定した活動・成果指標の目標を達成しているか | |
| | A | 平成28年度は、前年度と同程度の回収量があった。 |
| 効率性 | 民間委託や指定管理者制度の導入は可能か、コスト削減の余地はあるか、受益と負担（補助）の適正化が図られているか | |
| | B | 元々、民間のリサイクルプロジェクトへの協力事業で市の財政的負担が無いため、コストを削減する余地は無い。 |
| 総合評価 | C | 全国的に展開している民間のリサイクルプロジェクトで多数の企業・自治体が協力していること。加えて市の財政的負担が無いため、事業継続に支障は無いと思われる。 |

## 8．今後の方向性及び今後の取組（改善策など）（Action）

| 今後の方向性 | 継続 |
|---|---|
| 29年度 | 平成28年度実績と同レベルで事業継続していきたい。 |
| 30年度 | 前年度実績と同レベルで事業継続していきたい。 |

## 【参考】

⑴ 比較参考値（他市での類似事業の例など）

横浜市、大阪市のほか37自治体が事業協力。

⑵ これまでの見直しや改善等の経過

特になし